

小児科・思春期科

I. 基本研修体制

小児科は常に患者（児）全体を把握しなければ成立しない領域であり、細分化した医療の時代にあってもその中に様々なグループが存在し協力し合いながら日々研鑽を重ねてきた診療科である。すなわち、小児科は単一の臓器に関わる専門科ではなく、子ども全体を対象とする「総合診療科」である。

小児科の卒後臨床研修においては、子どもの体と心の全体像を把握し、医療の基本である“疾患を診るのではなく、患者とその家族を診る”という全人的な観察姿勢を学んでいただきたい。同時に、医師法の“全人的な医療（に加えて）、プライマリ・ケアができる医師を育てる”といった目標も達成して欲しい。

旭川医科大学小児科には、感染・免疫・腎臓、内分泌・糖尿病、循環器、神経・精神、血液・腫瘍、新生児の6つの専門診療グループがある。また、研修協力病院においても、旭川医科大学の理念に基づいた研修を受けることができる。

少子化といわれて久しい時代であるが、元気に育つ子ども達のいない世の中はありえない。1-2ヶ月間という短い小児科実地臨床ではあるが、受け身の姿勢で研修に臨んでは患者さんにとって失礼である。診療チームの一員として積極的に医療の一端を担う姿勢で研修に取り組んでもらいたい。

II. 指導体制

旭川医科大学小児科における指導責任者は小児科長である。直接的な指導には各診療グループのチーフがあたる。研修医は毎日指導医を含む診療チームの医師とともに回診を行い、病歴や身体所見の取り方や実際の手技を学び、検査方針や結果に関するディスカッションに積極的に参加して小児科診療への理解を深める。

III. 研修目標

以下に旭川医科大学小児科の共通目標、ならびに各診療グループが掲げる研修医の到達目標を示す。さらにグループ毎に“経験しておくことが望ましい疾患”や“診療の実際”が定められる。詳細は小児科ホームページ（<http://www.pediatric-world.com/asahikawa/>）を参照していただきたい。

1. 共通目標

成長と発達という小児の特性を十分に考慮して病歴を聴取し、鑑別診断を行い、治療計画を立てることができる。両親に適切な時期に必要な説明をすることができる。紹介元に必要に応じて連絡をすることができる。

研修期間中に全てを修得することは難しい。習得できなかった技術や経験できない疾患があれば、その他の研修期間に充当するように鋭意努力する。

2. 小児感染・免疫・腎臓グループ

1. 一般目標

- (1) 小児感染症, 自己免疫疾患, アレルギー疾患に対する医療を適切に行なうために必要な基礎知識・技能・態度を修得する.
- (2) 腎・尿路系に疾患を持つ小児患者の病態生理を理解し, それに対する検査計画, 治療方針を立て, 患者およびその家族と協力して医療を行うこと.

2. 行動目標

- (1) 小児感染症・自己免疫疾患・アレルギー疾患の診断, 治療, 予防を適切に行なうことができる.
- (2) 予防接種の意義, 種類, 接種時期, 接種間隔について説明できる.
- (3) 院内感染予防を適切に行なうことができる.
- (4) 小児腎・尿路系疾患に対する診断法を理解し, 治療計画を適切にたてることができる.

3. 小児内分泌・糖尿病グループ

1. 一般目標

- (1) 成長過程において内分泌機構が果たす役割を理解する.
- (2) 内分泌疾患は, 非特異的な病像を呈することが多いことを理解する. すなわち, 全身に広がる非特異的症候(やせ, 肥満, 身長が伸びない, 微熱, 頻脈, 疲れやすい, 活気がないなど)を総合的に解釈する態度を養う.
- (3) 生活習慣が身体機能に及ぼす作用について理解する.
- (4) 新生児マススクリーニングで行われる疾患群の病態と初期治療を理解する.

2. 行動目標

- (1) 内分泌疾患を疑う臨床症状に対して, 適切な検査を計画できる.
- (2) 成長および二次性徴の発達を正確に評価することができる.
- (3) 内分泌的救急疾患への対応方法を習得する.

4. 小児循環器グループ

1. 一般目標

- (1) 循環器疾患をもつ小児患者の病態生理を理解し, それに対する治療方針を立て, 患者およびその家族と協力して医療を行なうこと.

2. 行動目標

- (1) 小児循環器疾患の診察に有用な病歴を聴取できる.
- (2) 循環動態を把握するための身体所見を得ることができる.
- (3) 循環動態を把握するための生理学的検査を行ない, その所見を判定できる.
- (4) 病態生理に対応した薬物治療, カテーテル治療, または外科治療の方針を立て, 患者および家族にそれを説明できる.
- (5) 侵襲的な診断・治療手技を習得する.

5. 小児神経グループ

1. 一般目標

- (1) 小児の経年的な運動・精神発達を理解し、その評価を適切に行い、異常を指摘できる。
- (2) 多岐に渡る小児神経疾患に対する理解を深め、検査・治療方針をたてることができる。

2. 行動目標

- (1) 運動発達や精神発達の把握に有用な病歴聴取、身体診察、発達検査を行うことができる。
- (2) 神経症状の病態把握に有用な病歴聴取と身体診察を行うことができる。
- (3) 意識レベルの評価ができる。
- (4) 神経画像の読影、脳波の判読ができる。
- (5) 脳波、誘発電位などの生理学的検査を行うことができる。

6. 小児血液・腫瘍グループ

1. 一般目標

- (1) 悪性疾患に対する治療においてはリスク等により患者の層別化がなされ、各群に最適な治療が用意される。よって初発時の正確な診断能力を身につける。
- (2) 悪性疾患の治療は合併症が必須であり、その対策が治療の成否を左右する。よって様々な治療によって起こってくる合併症の対応策を考えることができるようにする。
- (3) さらに患児とその家族の精神的、経済的負担は医療者側の予想をはるかに超える。あたたかいハートを身につけたい。

2. 行動目標

- (1) 小児血液疾患・悪性腫瘍疾患の診療に有用な病歴を聴取できる。
- (2) 血液疾患・悪性腫瘍疾患を把握するための身体所見を得ることができる。
- (3) 血液疾患・悪性腫瘍疾患を把握するための検査を行い、その所見を判断できる。
- (4) 血液疾患・悪性腫瘍疾患の正確な診断ができ、治療計画を立てることができる。診断と起こりうる合併症に対する対策を説明することができる。
- (5) 造血幹細胞移植への理解を深める。

7. 新生児グループ

1. 一般目標

- (1) 新生児の胎内環境から胎外環境への生理的適応を理解する（新生児疾患は、胎外環境への適応障害と考えることができる）。また、新生児養護の原則である、栄養、保温、感染予防、母子関係の確立し必要な技術と態度を身につける。
- (2) NICUは、新生児の全身管理を行なう。したがって、新生児の生理と疾患について十分な知識をもつことが要求される。また、NICUでは、チーム医療を行なう。新生児医療は、多くの職種から成り立っていることを理解する。医師は、コーディネーターであり、スタッフの意見を尊重して診療に当たる。
- (3) 新生児医療は、新生児を取り巻く家族を含めた医療を行なうことを理解する。

2. 行動目標

- (1) 分娩に立会い，蘇生ができる。
- (2) 新生児を診察し，異常の有無を判断できる。
- (3) 新生児疾患を理解し，診断，処置を行なうことができる。また，適切な時期に，NICUに搬送することができる。
- (4) 当院はWHO/UNISEFから認定を受けている「赤ちゃんにやさしい病院」である。小児科医として母乳育児を実践し，そのすばらしさを伝える事ができる。

IV. 研修協力病院

以下の施設の協力をもって研修プログラムを充実させる。

旭川厚生病院小児科・NICU，名寄市立病院小児科

V. 達成の評価

研修医は病態の理解を深めるため，担当した患児の退院時要約を作成する。到達程度は，自己評価および要約の完成度も鑑みた指導医の評価を合わせて判断される。

旭川医科大学小児科全体の週間スケジュール

	午前	午後
月	総合外来 専門外来（内分泌，循環器，神経）	専門外来（神経） 乳児検診，心臓カテーテル検査 各グループカンファランス
火	総合外来 専門外来（内分泌，循環器，神経，血液腫瘍、感染・免疫）	総回診前カンファランス 総回診（小児科病棟，NICU） #リサーチカンファランス
水	総合外来 専門外来（内分泌，腎臓、神経，血液腫瘍） 心臓カテーテル検査	専門外来（内分泌，腎臓，循環器，神経，感染・免疫，新生児発達） #クリニカルカンファランス
木	総合外来 専門外来（神経）	専門外来（神経，腎臓，IUGR） 予防接種外来
金	総合外来 専門外来（内分泌，神経，新生児発達）	専門外来（内分泌，神経，新生児発達，感染・免疫）

小児科研修指導責任者 東 寛 教授
高橋 悟 講師
古谷野 伸 講師
荒木 章子 講師
島山 直樹 講師
長屋 建 講師 (周産母子センター)
棚橋 祐典 助教
岡本 年男 助教 (周産母子センター)
金田 真 助教
杉本 昌也 助教
長森 恒久 助教
松尾公美浩 助教
指導教員数 計： 12名

小児科へのお問い合わせ 旭川医科大学小児科学教室
078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL: 0166-68-2481/2483 FAX: 0166-68-2489
e-mail: pediatrics@asahikawa-med.ac.jp